

2025 年度
エリザベト音楽大学
学校推薦型選抜（指定校推薦・公募推薦）

幼児音楽教育専修 記述問題（出題の意図・解答例）

【出題意図】

幼児教育における音楽活動の意義に加えて、保育者の支援や幼児同士のやりとりに対する考察力を見る設問である。経験や保育現場での具体的な事例の記述においては、印象に残った理由を明確にしながら、保育者の支援や幼児同士のやりとりと音楽活動との関連を述べることが求められる。幼児音楽教育に対して主体的に考察ができているか、基礎的な文章構成力があるかを評価する意図がある。

【解答例】

幼稚園や保育所における音楽活動の中で印象に残っているのは、年長時の合奏における、音楽を通じた幼児同士の協力である。音楽活動が単なる技能の向上ではなく、社会性を育む重要な機会であることを実感した。

年長の合奏活動では、多様な楽器を取り入れた難易度の高い楽曲に挑戦した。最初は演奏が途切れることも多々あった。そのような時には保育者が介入するのではなく、子ども同士が「こうなんじゃない」と一緒に悩んで教えあうことで、次第にまとまりのある演奏ができようになっていった。最後の演奏では、みんなの拍が揃い、互いの音が響きあう一体感を感じ、全員で喜びを分かち合えた。

この経験を通して、音楽活動が幼児の協調性を養い、社会性を育む場となることを実感した。演奏の成功そのものではなく、音楽を楽しみながら表現していく過程にこそ、相互の学びや支え合いが生まれると考える。音楽を通じた人との繋がりを実感できたため、合奏活動が最も印象に残っている。（410字）